

1 PLAN(目的・概要)

建設整備事業

政策名	安全	25年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 事業担当課長	
施策名	港の安全性・信頼性の向上	成果	コスト				
事務事業名	高潮防波堤(改良)整備事業	延伸	拡大	拡大	連絡先 連携課	052-654-7921 計画担当、危機管理室	
目的	対象(誰・何を)	高潮防波堤(知多堤、中央堤、鍋田堤)				事業 期間	平成23~27年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	大規模地震時の津波及び高潮の被害から、背後地域の人命や財産を守るため、嵩上げや補強などの改良工事を行います。					
概要	整備場所:名古屋港外港地区防波堤(知多堤、中央堤、鍋田堤) 内容・規模:高潮防波堤(知多堤約1.3km、中央堤約0.8km、鍋田堤約2.4km) 総事業費:約100億円 事業手法:直轄事業				根拠 法令等	社会資本整備重点 計画法 名古屋港湾湾計画	
事業着手時点の 評価	防波堤の改良を行うことで、機能の維持及び耐波性が向上し、背後地域の生命・財産を守ることができます。				実施 義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
26年度の実施予定	国が老朽化対策、対波性の向上を図るため、高潮防波堤ケーソン中詰材の改良、上部工嵩上げ、洗掘防止を実施し、その内容に関して国と協議を行います。				関連 シート		

2 DO(実施)

26年度に実施した 内容・結果	国により高潮防波堤の改良(海上部ケーソン中詰材の改良、上部工嵩上げ等)が実施されており、その内容について国と協議を行いました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	合計(平成23年度~)	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	(770,100)	(2,999,880)	(4,024,365)	(7,944,345)	施工方法と施工範囲の拡充により増加したため。 事業費の( )は、国費負担分を含んだ金額です。
人件費	千円	256,700	999,960	1,341,455	2,648,115	
合計	千円	3,574	8,322	5,373	19,551	
	千円	260,274	1,008,282	1,346,828	2,667,666	

3 CHECK(検証)

指標名	24年度	25年度	26年度	最終目標	27	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
事業進捗率(%) (進行管理型)	目標	-	-	80.6	100(累計)	事業進捗率は、総事業費を100とした事業費の割合です。	
	実績	9.3	39.5	80.0			
	事業進捗状況(26年度)			順調 やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	平成27年度の事業完了に向け順調に進捗しています。						
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明					
必要性	○	事業着手時に比べ必要性が低下していないか?					
有効性	○	背後地域の生命・財産を守るために必要不可欠な事業です。					
効率性	○	高潮防波堤の改良により、機能の維持及び耐波性が向上することは、上位施策である「港の安全性・信頼性の向上」に貢献すると考えております。					
	○	津波の影響がもっとも懸念される海上部区間が概成したことから、一定の成果が得られていると考えております。					
	○	必要な事業費を精査して事業を進めています。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	・名古屋港の防災機能の強化に必要不可欠な事業であり、平成27年度の完了に向けて、着実に整備を推進する必要があるため。
	取組及び資源(財・人)の投入は妥当である。現状を維持する。		
課題			27年度以降の取組
平成26年度末に津波の影響が最も懸念される海上部区間が概成したことから、事業完了に向けて着実に事業を進めていく必要があります。			平成27年度の事業完了に向け、鍋田堤背後の陸上部区間の整備を進めていきます。